

◆原子力空母 ロナルド・レーガンの
「トモダチ作戦」被曝兵士裁判の現在
◆空母艦載機の爆音訴訟 現地レポート

12月4日(日)

13時30分～(開場は13時)

会場：ウェルシティ市民プラザ 5階第1学習室

(京急逸見駅・JR横須賀駅 徒歩10分)

資料代：500円



↑
被曝兵士救済のための支援を表明
する小泉純一郎氏(基金設立HPより)
http://www.jsbank.co.jp/pdf/tomodachi_kikin.pdf

←横須賀を母港とする空母が
入港する間、訓練し爆音を繰り返す
厚木基地の艦載機。

◆横須賀に配備された原子力空母ロナルド・レーガンは、2011年3月の東日本大震災での東北地方救援のための「トモダチ作戦」に参加して、福島原発事故の風下で放射能を浴び、現在裁判中の原告代理人によれば、兵士ら7名が死亡し、4百名以上の乗員が深刻な病気になって、米国の裁判所で東京電力に損害賠償裁判をしています。

今年5月には、小泉純一郎元首相が訪米し、兵士たちを見舞い、救済基金を立ち上げたことが大きく報道されました。当日は、この裁判を当初から支援し続けてきた日系人ジャーナリスト、エイミイ辻本さんをお招きし被害実態や裁判の状況、小泉元首相訪米の舞台裏などについてお話し頂きます。

◆また、横須賀に入港する際に空母艦載機が着陸し、訓練が繰り返される厚木基地周辺では、大和市・綾瀬市・海老名市はじめ県央地区の住民に及ぼす爆音による生活被害が甚大です。

現在進行中の「厚木基地爆音第4次訴訟」を厚木基地爆音防止期成同盟の金子豊貴男さんからレポートします。

主催・お問い合わせ：原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会 電話046(827)2713